

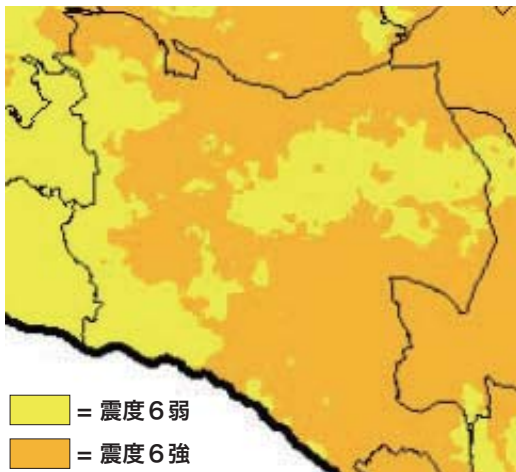
●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。

首都直下地震 区内7割の地域で震度6強 おくらせている住宅耐震化を急げ

東京都は、このほど「首都直下地震による東京の被害想定」を全面的に見直しました。それによると世田谷区内では震度6強の地域が、前回の被害想定との0.9%から66.8%に拡大しました。下記のような被害予測が出されていますが、この被害想定では不十分との専門家の指摘もあります。

日本共産党は、区民被害を最小限におさえる減災・予防対策を区政の最重要課題として取り組むよう区に求めました。

震度分布図(東京湾北部地震 M7.3)



'07.7.16に発生した新潟県中越沖地震

新たな被害想定による世田谷区内の被害

建物倒壊：23,701棟(全・半壊)

火災で全焼：22,455棟

死者：655人 負傷者：7,449人

避難所生活者：157,553人

新たな被害想定をただちに区民に知らせよ 日本共産党の質問と答弁

Q. 減災・予防対策をすすめる区長の決意を示せ。

A. 建物倒壊や死者数など深刻だ。被害の最小化を図っていく。

Q. 新たな被害想定をただちに区民に知らせよ。

A. 秋に区民への車座集会を開催する。
災害時区民行動マニュアルマップを全戸配布する。

Q. 区内の未耐震住宅は7万棟、耐震化促進のため耐震化助成制度を拡充せよ。

(住宅の耐震化助成は5年間でわずか250件、大変おくらせています。制度の拡充が必要です。)

A. 機会をとらえ、耐震化、不燃化をすすめる。

待機児童の解消へ、「認可保育園の整備を中心にとりくむ」

区の保育待機児童は、過去最高の786人です。

認可保育園のさらなる増設を求めた日本共産党の質問に対し、区は「待機児童解消のため認可保育園の本園、分園の整備を中心に…保育の質にも十分留意しながらとりくむ」と答弁しました。



江口じゅん子

● **外環道建設—代替地を求める事業者の問題解決に努めよ**

東名ジャンクション内（喜多見・宇奈根・鎌田・大蔵）の地権者のうち、工業者 33 社、農業者 15 名が事業継続を希望しています。日本共産党は、外環道計画反対の立場です。同時に、地権者の切実な要望の問題解決が必要です。私は、区長に代替地確保を国に求めることを要望しました。

● **低所得の高齢者が入居できる「軽費老人ホーム」建設をすすめよ**

5 月、板橋区の簡易宿泊所の火災事故で、生活保護受給者が亡くなりました。低所得高齢者が入居できる都市型軽費老人ホームの早急な整備が必要です。

施設整備推進のため、区は都に事業者への補助金増額を要望することを求めました。



桜井みのる

● **集会施設を増やすなど改善し、使用料値上げはすべきでない**

区は来年度に「受益者負担」を理由に施設使用料値上げを進めようとしています。私は、区民の数多くの自主活動が、区民生活を支え、区政を支えてきており、集会施設はその活動の源泉になっていると指摘し、住民のコミュニティ活動拡充のために、集会施設を増やすなど改善をすすめ、使用料値上げはすべきでないと求めました。

区長は集会施設が「コミュニティ形成の要」とのべ、コミュニティ施設を大事にすることと利用者負担を「矛盾しないよう」にしたいと答弁しました。



里吉ゆみ

● **大規模化対策、保育時間延長など学童クラブの改善を**

区内の学童クラブは登録児童数が増加し続けており、全 64 校中、国のガイドラインの 70 人を超える学童クラブが 26 校、うち 100 人以上が 6 校もあります。私は、学童の質の確保や安全性を考え、スペースや職員体制の拡充を行ない学童クラブを分割することを求めました。また、夏休みなどの長期休みの朝の開始時間を、現在の 8 時 30 分から、通常の学校開始時間の 8 時 15 分に早めることなど、保育時間の延長を求めました。



中里光夫

● **道路代替地を保育園整備に活用せよ**

保育待機児が過去最高を更新して 786 人になりました。保育園が足りません。保育園整備のための土地の確保が困難と言われていますが、世田谷区は「道路代替地」という名目で 100 ヶ所 2 万㎡もの空き地を所有しています。道路整備の時の立ち退き先として確保している土地ですが、保育園整備にも使えることを確認しました。道路代替地を保育園整備に活用するよう求めました。



村田義則

● **知る権利を保障する情報公開制度の改善を**

区の情報公開制度は区民の知る権利を保障し、公正で開かれた区政の実現を図ることを目的とする重要な制度です。区議団は、情報のインターネットによる開示請求、公開範囲の拡大、区民の不服申し立てに対する審査会の答申の公開など、開かれた区政を進めるための制度改善を提案しました。区長は「制度の充実に向け研究を進め、区民に開かれた区政運営を行なっていく」と答弁しました。

防災、行革、子どもを放射線から守る 代表質問で論戦した

江口じゅん子区議に聞く！



Q 初めての代表質問、お疲れ様でした。今回の議会は、
どうでしたか？

A 「防災」「行革」問題は、各党が重要な課題として取り
上げました。

私は、まず首都直下地震に対する「新たな被害想定」
について質問しました。

現在の区政の最重要課題の一つは、被害を最小限に抑

える減災・予防対策であり、早急な対策を求めました。
区長は、「被害の最小化を図っていきたい」と答弁しま
した。

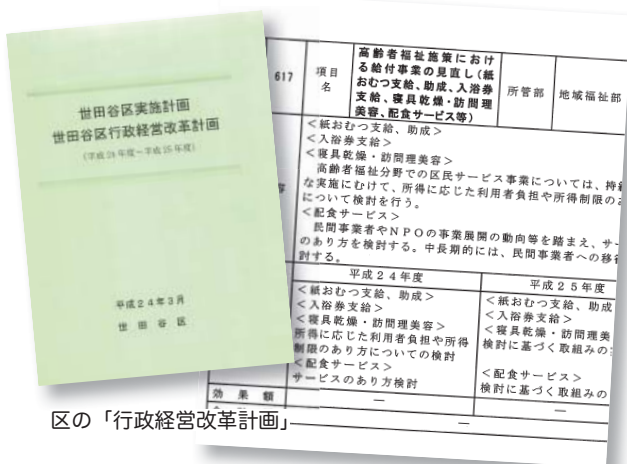
2つ目は、「行革」です。私は、看護師経験を交えて
介護中の方や母子家庭の声を取り上げ、区長に「区民に
負担を強いる行革は見直すべき」と質問しました。

区長は「財政が厳しい」「慎重に検討する」等の答弁
でした。自民党、公明党は保育料や施設使用料値上げな
どを求めました。

Q 川場村移動教室について、新たな態度を表明したそ
うですね。

A 3回の現地調査や専門家、保護者の声をふまえて「授
業の一環としての移動教室中止」を求めました。区から
「(参加は) 強制するものではない」との答弁を引き出す
ことができました。

同時に、村の観光等を後押しするため、区に支援策実
施を求めました。



区の「行政経営改革計画」

介護保険料の値上げに問い合わせ・苦情が殺到！ 保険料の軽減を！！

Q 今年から介護保険料が基準額で年間1万円値上がり
しました。高齢者から悲鳴が聞こえています。

A そうなんです。6月から、各人に今年度の介護保険
料決定通知が届いています。区には、問い合わせや苦情
の電話が1日数百件入っています。

そのうえ、6月から年金支給額が減り、高齢者の生活
は大打撃です。

このうえ消費税増税なんて、絶対に許せません。

Q 区議団は解決のために、どのような提案をしたので
すか？

A 私は、低所得世帯への独自軽減策拡充の実施を求め

ました。

すでに23区の約半数は、今年度からの保険料値上げ
に対し、第1、第2段階の世帯、つまり所得80万円以
下の世帯の保険料率を基準額の0.4倍にする等の抑制
策を行っています。しかし世田谷区は0.5倍です。現
在区内には、第2段階の方が2万人以上もいます。そ
の方たちの介護保険料は、年間3万600円にもなりま
す。

私たち区議団は、一刻も早い保険料軽減の拡充を求め
てがんばっていきます。

総額数千億円の一大事業

京王線高架複々線化計画と 大型道路、駅前開発

日本共産党は、京王線高架複々線化計画の凍結、見直しと、大型道路、駅前開発の中止を求めています。道路整備については、車中心の都市計画道路を増やすのではなく、今ある狭あい道路を拡幅するなど整備し、歩行者と自転車優先の道路整備を進めるべきです。

不要不急の大型開発予算は、震災復興や国民生活を守るために回すべきです。

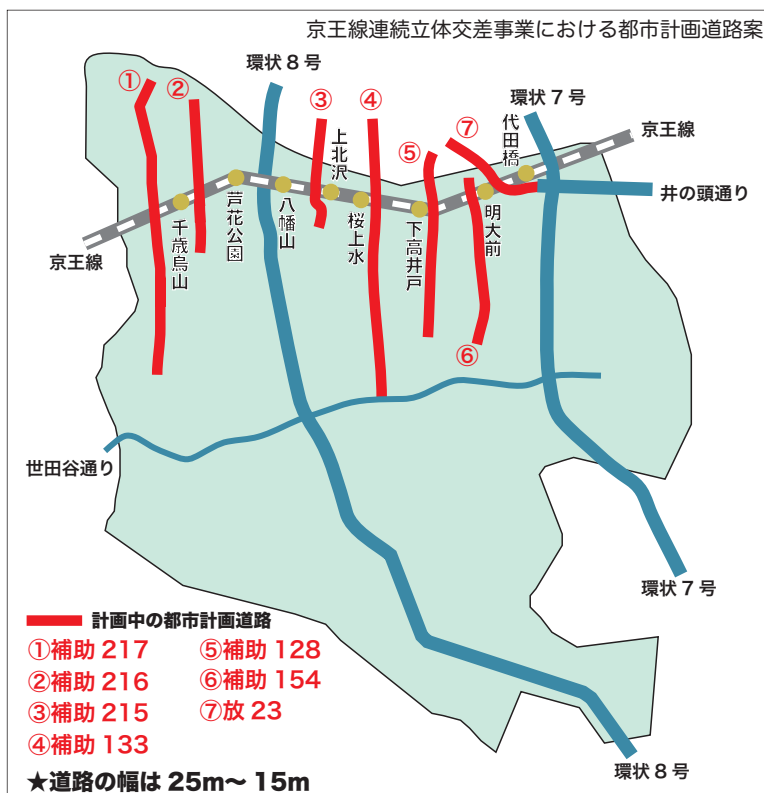
京王線高架複々線化計画とは……？

京王線代田橋駅～千歳烏山駅間の高架化と線路を4線に増やす計画です。

鉄道を高架や地下にして、道路と立体交差させることで、あかすの踏切を解消する事業とされていますが、本当の目的は大型道路と駅前開発を進めることにあります。東京都のパフレットには「連続立体交差事業は、“道路整備”の一環として…施行する」と書かれています。今回の事業では右図で示したように、京王線と交差する幅25m～15mの7本の都市計画道路が整備対象として示されています。また、明大前駅と千歳烏山駅では駅前広場（バスロータリー）をあわせて整備する計画です。

そして道路や駅前広場周辺で、再開発、建物高層化が促進されます。

また、人口減少が予測される中で輸送力アップのための複々線化は必要ありません。



あかすの踏切解消は……

あかすの踏切解消は、地域住民の長年の願いです。新たな道路をつくるのではなく、現在ある道路の一部を線路の下に通す（アンダーパス）など、早期に解消できる対策を取るべきです。

いま、現地では、こんな問題が……

鉄道の高架化計画に対しては、騒音、振動、地域の分断などの面から地下化など見直しを求める声が多数出されています。都市計画道路や明大前駅、千歳烏山駅の駅前広場（バスロータリー）計画にも見直しを求める声が相次いでいます。明大前駅周辺街づくり協議会は、都や区の計画の変更を求めています。

東京都は、地元住民の合意もないまま9月4日の都市計画審議会で、京王線連続立体交差事業、関連側道や駅前広場について決定しようとしています。